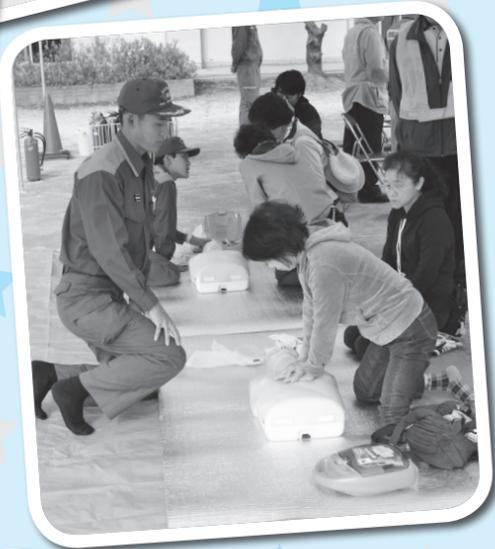


# つくろう！まちの元気

## 地域を支える町会・自治会

町会・自治会は、防犯灯や掲示板、ごみ置き場の維持・管理をはじめ、防犯・防災・環境美化・福祉・レクリエーションなどさまざまな活動に自主的に取り組んでいます。自分たちの生活する地域をよりよくしようとする皆さんの思いが、地域を元気にしています。



### 町会・自治会活動に参加しませんか？

☎市民自治課 ☎366-7318

市内の町会・自治会の加入率は、平成30年4月1日現在で約70%です。これから加入を希望する人は、お住まいの地域の町会・自治会にご連絡ください。連絡先が分からない場合は、市民自治課またはお近くの支所に相談してください(町会・自治会の連絡先は、個人情報保護のため窓口での申請があった場合のみお伝えしています)。

町会・自治会コミュニティの詳細は、市ホームページをご覧ください。



市ホームページ

次のページから、実際の活動の一部を紹介します。



## 松戸まちづくり会議

### 中心市街地活性化

～地域の力でにぎわい創出～

松戸駅周辺の町会・自治会で構成する松戸まちづくり会議は、中心市街地の活性化のためさまざまな活動を行っています。

7月7日に開催した「七夕とホタル観賞の夕べ」では、夕暮れ時から大勢の人が集まりました。春雨橋親水広場と松戸神社の境内に設置したテントで約2,000匹のホタルが発光すると、初めてホタルを見たという親子連れは歓声を上げ、短冊に願い事を書いて笹竹につるしていました。同神社の神楽殿からは地元箏曲教室の講師が演奏する曲と地元の歌手の歌が聞こえ、会場に出店した地元の屋台には人があふれていました。

地域の力で、賑わいを創出しています。



## 野菊野団地自治会

### 健康増進・引きこもり対策

～明るく楽しく健康体操～

野菊野団地の一角にある集会所では、月に1回の「ふれあいサロン」と月に3回の「ふれあい健康体操」が開催されています。

健康体操では約1時間、高齢者を中心とする参加者がインストラクターの先生の指導で、体操を行っています。全身を使った体操であるため難しく感じることもありますが、参加者からは「参加し始めて、足のしびれが軽くなりました」「少しずつ体が柔らかくなりました」など、体操の効果を実感する声が聞こえてきます。

斎藤正史自治会長は、「高齢者の皆さんが家に引きこもらず、外に出てきてくれることが重要です」と話してくれました。高齢者が元気で楽しく生活するための取り組みが行われています。



## 栄町坂川町会

### 環境・美化活動

～ごみ拾いから始める意識向上～

栄町坂川町会のエリアは、田畑が残る穏やかな住宅街です。5年前から周辺にごみが目立つようになったため、住民の「環境を美化したい」という思いのもと、町会を挙げてのごみ拾いが始まりました。

年に数回、土曜の朝9時に、子どもから高齢者まで約40人が栄町西公園に集まります。参加者同士「おはようございます」「寒いですね」とにこやかにあいさつが交わされ、和やかな雰囲気です。全員がごみ袋を受け取ると3班に分かれて町内を回り、ごみを拾います。



高久克正町会長は、「ごみ拾いに参加することで、ごみを捨てないという意識も持ってもらえたら」と、活動を通じて環境美化への意識が高まることを期待しています。

## 郊外大橋町会

### 世代間交流・引きこもり対策

～高齢者が生き生きと暮らせるまちへ～

郊外大橋町会では、敬老の日に賀寿と長寿の人をお祝いする「敬老を祝う会」を開催しています。

今年の祝う会では、和名ヶ谷中学校の合唱部28人と高齢者30人が一緒に歌を歌いました。高齢者の皆さんは若い世代と交流することで、気持ちも若返ったよう。この他にも、町会在住の人のハーモニカやピアノ演奏を聞き、参加者全員でフォークダンスを踊るなど、世代を超えて楽しい時間を過ごしました。



菅原正人町会長は、「家に一人でお年寄りが祝う会をきっかけに外に出て、多くの世代と交流し、元気に生活していただけるようになれば」と期待しています。高齢者が生き生きと暮らせるまちを目指す取り組みが行われています。

## 高塚新田自治会

### 生きがいつくり

～サロンで広がる交流の輪～

高塚新田自治会では、いきいきサロンや防犯パトロール、防災訓練などの活動を行っています。

いきいきサロンは毎月第4火曜に高塚新田集会所で開催されます。10月23日のサロンでは、雨にもかかわらずスタッフ・参加者合わせて30人が集まり、お茶とお菓子で歓談し、漫談のビデオ観賞やしりとりゲームなどで盛り上がりました。地域の皆さん同士がふれあい、一緒に楽しむことで支え合う気持ちが強まります。

いきいきサロンの立ち上げから関わる白鳥正直代表は、「サロンに来られない方にも何かできないかと考えています」と、より多くの高齢者が自分らしく生き生きと生活するための新しい活動も模索中です。



## 五香松飛台地区会

### スポーツ大会

～世代問わず楽しく健康に～

五香松飛台地区会では、大運動会の一環として、親睦と健康増進を目的に「グラウンドゴルフ大会」「卓球大会」「歩こう会」の3つのスポーツが毎年秋に開かれ、多くの人々が参加しています。

スポーツの種類によって参加者の年代に偏りがみられることもありますが、親子3代を対象とする同地区会のスポーツ大会では、子どもから高齢者まで幅広い年代が楽しんでます。世代間の交流にもつながり、地区での一体感が育まれます。

遠藤庸光地区長は「お子さんにも楽しんでもらっていますので、さらに参加を促して交流を深めていきたいです」と、来年度以降の活動を見据えています。



## 常盤平団地自治会

### 歳末ふれあい餅つき

～住みよい、楽しい団地づくり～

50年以上続いている「歳末ふれあいもちつき」は、自治会員だけでなく、地域の多くの人に愛される常盤平団地自治会の年末の恒例行事です。毎年12月の第1日曜に開催しています。

朝10時から餅をつき、特製のとん汁とおしるこに入れて提供します。例年、昼過ぎには売り切れ御免の大盛況。味の評判も上々です。

10年以上前からフリーマーケットも同時開催しています。昨年は市内外から合わせて61店舗もの出店があり、買い物を楽しむ人たちが賑わいました。

同自治会は、この他にも夏まつり盆踊りや運動会を開催するなど「ふれあい」を大切に、住みよい、楽しい団地づくりを目指しています。



## 小金地区連合町会

### 小・中学生の観光ボランティアガイド

～外国人にまちの魅力を発信～

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会で、多くの外国人観光客が松戸市を訪れることを想定し、小金地区では町会・学校・市が連携して観光ボランティアガイドを育成しています。

8月には、松戸市で事前キャンプを行うドミニカ共和国のソフトボール・バレーボール・テコンドーの各競技連盟の代表者が本土寺を訪れ、地元の中学生が観光ボランティアガイドとして、道案内や折り紙などの日本文化の紹介を行いました。

大塚清一連合町会長は、「観光ボランティアガイドは町おこしの一環です。今後もさまざまな方面に活動を広げ、最終的には町全体の活性化を目指しています」と、より大きな目標を見据えています。



## 小金原地区会

### まちづくり部

～地域活性化を考えるワークショップ～

小金原地区会(連合町会)には、防犯部、防災部、まちづくり部の3つの事業部があります。

まちづくり部では、小金原の将来を考えるため、平成29年度からワークショップを開催しています。活気ある小金原を取り戻したいという思いのもと、さまざまな年代の参加者が真剣に楽しく話し合う、地域に開かれた取り組みです。

参加者からは、「自由な発想・意見を発信することができて有意義でした」

「小金原を魅力的な地域にしたいので、できる限り協力していきたいです」などの前向きな意見が寄せられ、今後の活動への期待の高さがうかがえました。



## 新松戸地区会

### 新松戸音楽祭

～地域のつながりをつくる～

9月30日に、流通経済大学新松戸キャンパスで「新松戸音楽祭」が開催されました。雨にもかかわらず開場前に200人以上が並び、合計1,200人が参加した大人気のイベントで、地域の4つの小学校と2つの中学校、2つの高校の吹奏楽部が演奏を披露しました。

この音楽祭は、楽器の運搬や当日の受け付け、誘導など約60人の新松戸地区会の皆さんにより運営されています。

渡辺仁地区長は、「出演されるお子さんにも、地域とのつながりを感じて

もらえれば、地域交流がもっと活発になると思います」と、これからの地域を担う小・中学生、高校生にも、地域交流の大切さを学んでもらえればと期待しています。



# 災害に備える地域活動

## 北松戸町会

～いまから、これからの備える～

北松戸町会では、災害時に地域住民への支援ができるように防災設備の充実を心掛け、町内の3カ所に防災倉庫を設置し、来年度も新たに1カ所の設置を計画しています。

また、災害時の避難場所として上本郷小学校体育館に加え、独自に北松戸会館を想定し、松戸市総合防災訓練では、上本郷小学校での避難所開設訓練に参加しています。

西野高嶺町会長は、「訓練で避難所を開設してみると、思っていた以上にさまざまな問題があることに気付かされました。それらにどのように対応していくかが今後の課題です」と、いつ起こるか分からない災害に備え、抱負を語ってくれました。



## 馬橋西地区会

～結束強めて防災力向上～

「2つの行事を同時に開催することで、相乗効果をねらいました」と立古史朗地区長が期待を込めるように、馬橋西地区会は、2年に1度実施している防災訓練と地域活性化イベントを融合させた「防災フェスティバル2018」を開催しました。

防災訓練では、消火器・AED訓練など防災の基本技術を身に付け、地域活性化イベントでは、プロの音楽家や地元小・中学校吹奏楽部の演奏を通じてさわやかな時間を過ごしました。

「災害が起きる前に集団の力を醸成しなければなりません。そのために地域の輪をつなげていきたいです」と話す立古地区長。楽しみながら地域のコミュニケーションを深め、災害に備えます。



# 犯罪を防ぐ地域活動

## 八ヶ崎7丁目町会

### ～子どもが安心して下校できる地域～

八ヶ崎7丁目町会では、八ヶ崎小学校の下校時間に児童の見守りを行った後、二手に分かれて小学校周辺の防犯パトロールを実施しています。

「子どもたちが安心して下校できる地域であり続けたいです」と柏木昭雄町会長は子どもの安全を守る強い思いを持って、見守りとパトロールに臨んでいます。

町会の皆さんは「地域の安全に貢献できることはもちろん、防犯パトロールで歩くから、自分たちの健康のためにもいいんです」と隠れた効果を教えてくれました。

「おかえり」「気を付けて帰ってね」という町会の皆さんの温かな声が、今日も通学路に響きます。



## 常盤平西窪町町会

### ～常時約10人参加 さらに活動活発化～

常盤平第三小学校の通学路では、町会の皆さんが黄色い旗を持ち、児童の登下校を見守っています。忙しい合間を縫って、常時約10人が参加しています。

今年から活動に参加した町会員は、「孫が常盤平第三小学校に通っていることが縁で、この活動を始めました」と、きっかけを教えてくださいました。毎日見守ってくれる皆さんに、子どもたちから話しかけてくることも。それが、町会の皆さんの活力になっているようです。

伊藤達町会長は、最近、より活発になった活動に誇らしさを感じるとともに、「児童を守るためには、まず自分たちが病気やけがをしないように気を付けたい」と、改めて気を引き締めて取り組む姿勢を見せてくれました。熱い思いを胸に、これからも児童の安全を守ります。



## 六実っ子安全安心見守り隊

### ～地域全体の犯罪抑止効果も～

六実、六高台、高柳新田の各地域では、町会・自治会をはじめとする38団体 1,355人(平成30年10月現在)が参加する「六実っ子安全安心見守り隊」が活動しています。登下校中の児童・生徒の安全を守ることはもちろん、地域全体の犯罪抑止にも貢献しています。

見守り隊発足から1年2カ月が経った今年8月、意見交換会が開催され、現状の問題点

や改善策などについて話し合いました。

「隊員証は子どもの安心につながっている」「意見交換会を定期的には開催できないか」といった意見が出るなど、見守り隊の存在感が高まっていることが確認できました。地域の力で安全・安心なまちづくりが進んでいます。



六実っ子安全安心見守り隊登録団体代表者意見交換会

## 町会・自治会の拠点づくりを支援します

☎市民自治課 ☎366-7318

市では、集会所を持っていなくても自由に活発な活動ができるよう、町会・自治会の拠点づくりを支援しています。ぜひご利用ください。

### 活動場所の施設使用料を補助します(会議室等使用料補助金)

物件の条件	町会・自治会等が活動の場所として使用した会議室等 ※公共施設等対象外の施設もあります。
補助率	使用料の10分の8(100円未満切り捨て)
限度額	年額32,000円 ※領収書の写しが必要です。
受付期間	H31/2/1(金)～3/29(金)(平成30年度使用分)

### 活動拠点施設の賃借料を補助します(活動拠点賃借料補助金)

補助率 1カ月の賃借料の10分の8(限度額6万円)  
※家賃以外の費用(敷金、礼金、保証金、手数料、共益費等)は含みません。  
※契約前に市民自治課との協議が必要です。

広告